

日本小児病理研究会 会報 第48号

2009年5月30日

1. はじめに

総務幹事 中山雅弘

今年もはや5ヶ月が過ぎました。新型インフルエンザで神戸や大阪北部は大変な状況です。神戸開催予定の麻酔科学会は中止になったようです。病理学会は無事終了できて結構でした。

これまでの会員からのご意見の中で、夏の研究会以外にもセミナー等を開いてほしいという要望に対しては、タイムリーに病理学会からのオファーがあり、コンパニオンミーティングが実現しました。今回の演者は、小児病理研究会の会員のみでしたが、次回からは、会員外の専門家や、臨床医なども必要に応じて招請し、毎年の病理学会での定例行事として継続することが期待されます。

今ひとつは、病理学会が直面している問題を本研究会でも考えるというような発想も必要かと考えています。たとえば、剖検数の減少をどうとらえるのか？ オートプシー・イメージングをどう考えるのか？ 化学療法後の腫瘍検体への対処その他多くの問題があります。このような課題を議論する場として、夏の研究会でのモーニング（プレコンgress）カンファランス——朝の8時頃から約1時間程度の開催を幹事会等で提案したいと思いますが、いかがでしょうか？あるいは、この時間を利用して、症例検討会やCPCなど通常の学会発表以外の企画を行うのも一案かと考えます。

小児病理研究会および小児腫瘍分類委員会は以下の様に、国立成育医療センターで開催されます。盛会のために多数の演題発表や御参加をお願いします。

2. 第29回日本小児病理研究会のご案内

世話人 藤本純一郎先生（国立成育医療センター研究所 副所長）

日時：2009年9月5日（土） 10時～15時（予定）

場所：国立成育医療センター 研究所 2階セミナールーム

交通：新宿駅から小田急線で成城学園前駅下車（急行15分）、バスにて成育医療センター前下車

参加費：3,000円

主題：小児のリンパ腫

特別講演：中村栄男先生（名古屋大学医学部・臓器病態診断学・病態構造解析学教授）

”リンパ腫の最新分類—新WHO分類について—”

【演題申し込み】

演題名（主題か一般演題かを明記）、出題者、所属名、抄録（200字程度）を下記のアドレスにメールでご応募下さい。Mac使用についてはその旨御記載下さい。郵送にてお申し込みの場合は、抄録のCD-R

またはフロッピーディスクも添えてお送り下さい。

締め切り 2009年7月31日、必着

抄録送付先：

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

国立成育医療センター 研究所 藤本純一郎

電話：(03)3416-0181

E-mail (両方のアドレスにご送付下さい)； jfujimoto@nch.go.jp

fujimoto-j@ncchd.go.jp

3. 第6回小児病理セミナー「小児の肝移植」のご案内

主催：日本小児病理研究会

日時：2009年9月5日(土) 16時～18時30分(予定)

場所：国立成育医療センター 研究所 2階セミナールーム

対象：小児科医、小児外科医、病理医ほか小児病理に興味のある方(先着50名)

参加費：3,000円(ハンドアウト、軽食) (小児病理研究会参加者は2,000円)

テーマ：小児の肝移植

講師およびタイトル

1. 笠原群生先生(国立成育医療センター第二専門診療部・移植外科医長)

”小児肝移植のトピックス”

2. Professor Bernard Portmann. (Institute of Liver Studies, King's College Hospital School of Medicine and Dentistry, London, U.K.)

”Role of the pathologist in paediatric liver transplantation.”

参加申し込み・問い合わせ先：

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

国立成育医療センター 病理診断科内

日本小児病理研究会事務局 松岡 健太郎

電話：03-3416-0181 FAX：03-5494-7136 E-mail: matsuoka-k@ncchd.go.jp

4. 2009年度小児腫瘍症例検討会開催のご案内

恒例の小児腫瘍症例検討会を第29回日本小児病理研究会の開催に合わせて下記の日程にて開催いたします。本症例検討会は稀な小児腫瘍や診断困難例のみでなく、典型的な腫瘍も対象としています。応募症例のプレパラートが配布され、その所見をもとに討議する会で、病理医のみでなく、小児腫瘍に関心をもたれている臨床医にも広く公開しています。今年は昨年に引き続き、現在改訂作業中の肝芽腫の新組織分類案についての解説講演を企画いたしましたので、奮ってご参加していただきたいと考えてい

ます。詳細な内容等については下記までお問い合わせください。

主催：日本小児腫瘍分類委員会

日時：2008年9月4日（金）13時30分～18時（予定）

場所：国立成育医療センター研究所2階カンファレンスルーム

1) 2009年度小児腫瘍症例検討会

2) 解説講演：

堀江 弘先生（千葉県こども病院病理、日本小児腫瘍分類委員会 委員長）

“肝芽腫の新組織分類案について”

参加申し込み・問い合わせ先：

〒266-0007 千葉県緑区辺田町 975-1

千葉県こども病院病理 堀江 弘

電話：043-292-2121 E-mail: h.hre5@mc.pref.chiba.lg.jp

*9月4日（金）小児腫瘍症例検討会終了後、小児病理研究会と合同の懇親会を開催いたします。詳細は当日ご案内申し上げますが、皆様ふるってご参加下さい。

5. 幹事選挙のお知らせならびに投票のお願い

本会規約により常任幹事の改選（4名）を行います。同封の投票用紙の投票欄に4名まで○を記し、同封の封筒にて事務局宛にご返送下さい（返送用の封筒には会員確認のためお名前をご記入下さい）。5名以上記入した場合は無効投票となりますのでご注意ください。投票締め切りは2009年7月10日です（消印有効）。なお、改選幹事（田中祐吉、中川温子、中山雅弘、堀江弘）、留任幹事（藤本純一郎、北條洋、岸本宏志、森川征彦）、および名誉会員・65歳以上の会員には被選挙権はありませんのでご注意ください。

6. 第98回日本病理学会コンパニオンミーティングの報告

1) 平成21年4月30日から5月2日の3日間、京都市で開催された第98回日本病理学会学術総会において「小児の肝腫瘍」を主題として、日本小児病理研究会主催のコンパニオンミーティングを行いました。演者ならびに演題名は以下の通りです。

堀江弘先生（千葉県こども病院病理、日本小児腫瘍組織分類委員会）

“肝芽腫の組織分類の改定にあたって”

田中祐吉先生（神奈川県立こども医療センター病理科）

“胎盤に転移性病変を認めた先天性悪性肝臓腫瘍の1例”

井上健先生（大阪市立総合医療センター病理部）

“肝腫瘍との鑑別を要する過形成性結節”

座長 松岡健太郎先生（国立成育医療センター病理診断科）

2) アンケートについて

今後のコンパニオンミーティングに役立てていくためにアンケートを行いました。結果をお知らせします。アンケート回収数 17（日本小児病理研究会会員 12 名、非会員 5 名）

①参加理由、内容、時間など

ほとんどの方が小児病理に興味をお持ちでした。肝臓の病理に興味をお持ちの方もご参加いただきました。内容、時間についても概ね適当とのご意見でした。

②今後希望される内容

小児腫瘍では腎腫瘍、軟部腫瘍、脳腫瘍についての希望が多く、周産期・新生児病理では呼吸器、胎盤、絨毛性疾患についての希望が多く出されました。

上記の結果をもとに、今後の病理学会総会でのコンパニオンミーティングのテーマを検討していくこととします。ご協力ありがとうございました。

3) お詫びとお知らせ

「小児の肝腫瘍」ハンドアウトの一部に落丁があり、参加いただいた皆様にはご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。なお、ハンドアウトに残があります。第 29 回日本小児病理研究会におきましてご希望の方への配布を予定しております。

7. 事務局より

1) 新入会員のおしらせ

筑波大学医学部 病理学教室 坂田晃子先生
皆様よろしくお願いたします。

2) 平成 21 年度会費納入のお願い

本会規約により、本会の会費は年間 5,000 円となっております。同封いたしました振り込み用紙にてお願いたします。会費納入についてご不明の点があれば、事務局 松岡までお問い合わせ下さい。

3) 会報第 47 号において第 29 回日本小児病理研究会、小児病理セミナーならびに小児腫瘍症例検討会の日程につき誤った曜日にてお知らせしておりました。正しくは 9 月 4 日（金）および 9 月 5 日（土）です。申し訳ございませんでした。

4) 日本小児病理研究会の入退会につきましては、E-mail または FAX にて事務局へご連絡ください。

日本小児病理研究会事務局
〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
国立成育医療センター 病理診断科内
松岡 健太郎
TEL : (03)3416-0181 FAX : (03)5494-7136
E-mail: matsuoka-k@ncchd.go.jp
本研究会のホームページ：
<http://www.ibmd.jp/~jspp/>